

昔の遊び なかなか難しいぞ！

2月19日、中津川小学校で高齢者と児童のふれあい活動が開催されました。

これは、昔から親しまれてきた正月遊びや冬の遊びを高齢者と一緒に学び交流を深めようと、中津川小、中津川公民館、中津川社会福祉協議会が合同で企画したものです。

当日は晴天にも恵まれ、高齢者44名が参加。

みんなで、竹とんぼやコマ回し、あやとりやお手玉作りなど昔の懐かしい遊びをおこなって一緒に楽しみました。

最初コマ回しに挑戦した児童は、なかなか思うように回ってくれないコマに四苦八苦していました。高齢者の方の指導で少しずつ上達。終わる頃にはうまく回すことができるようになっていました。

最後に児童代表の寺脇由紀子さんが、「地域の人たちと交流が図られてよかった。（高齢者の方は）私たちよりもとても上手で、楽しく教えてもらいました。」と感想を述べてい

ました。

◀ あやとりを教えてもらう児童



自衛隊入隊を激励

3月6日陸上自衛隊に入隊する柳田大作さん（別野）の壮行会が町長室でありました。山口町長が「難関を突破され自衛隊へ入隊されることおめでとうございます。健康に留意されがんばってください。」と祝辞を述べました。



今後陸上自衛隊北熊本教育隊で基礎訓練を受けた後、各部隊に配属される予定です。

秦野精密工場増設 町と立地協定を締結

3月24日、求名広橋にある（株）秦野精密（淵脇忠夫社長）が、同工場敷地内に新たに工場を増設することが決まり、町長室で立地協定の調印式がおこなわれました。

（株）秦野精密は、フラインブランキング（精密打抜き）加工、金型設計及び製造販売の専門メーカーで、同社の製品は高い品質及び精度で自動車業界からも厚い信頼があります。今回新たに増設される工場は、述べ床面積689㎡の鉄骨平屋建てで、今年8月後半の操業開始予定です。

調印式では、同社の淵脇社長が「町出身者として地元で増産を図る計画となりたいへんうれしい。加工の先進メーカーを目指して『鹿児島でもこれほどの部品が作れるのか』といわれるよう努力したい。」と抱負を述べられました。



▲左から半崎議長、久木元助役、平田県企業立地推進室室長、淵脇社長

宝くじ助成事業で かね鉦・太鼓・はかま袴整

永野民芸保存会では、伝統芸能の「岩元の秋津舞」を保存するため、古くなっていた備品を平成14年度宝くじ助成事業の活用で購入しました。今後、神社での奉納、運動会、各種イベントなどに使用していきます。

- 〔宝くじ助成事業で整備した備品〕
- ① 1尺6寸踊り太鼓 8個
 - ② 1尺2寸踊り太鼓 12個
 - ③ 6寸踊り鉦 8個
 - ④ 袴 8枚



▶ 新しくなった1尺2寸踊り太鼓